平成28年度　大阪府立岬高等学校　第２回学校協議会　議事録

平成28年10月７日（金）午後３時～

於　岬高等学校　校長室

出席者　【委員】見先　梅川　松本　西本　矢田　大浦　（敬称略）

　　　　【岬高校】校長　教頭（２名）　事務長　首席　指導養護教諭

　　　　　　　　　教務主任　進路指導主事（代理）　生徒指導主事　国際交流委員長

特別支援コーディネーター　人権教育推進委員長　保健部長　山海人委員長

１．【学校長挨拶】（要旨）

　・今日から２学期中間考査が始まりました。また、エンパワメントスクールになって半年です。本日は進捗状況

　　の報告を行います。それに対し、ご意見を頂きたいと思います。

　①校長より、学校協議会委員の皆さんの紹介

　②校長より、新委員へ委嘱状の手交

　③事務局、参加者（教員）の自己紹介

④教頭より、学校協議会の実施要項の説明

２．【報告事項】

　①平成28年度学校経営計画の進捗状況

　〇教務部より

　　１年生からエンパワメントになり授業内容が大きく変わっています。少人数展開を行っている授業は多くありますが、その中でも１年の基礎国語、基礎数学、コミュニケーション英語基礎は30分×５日間のモジュールで習熟度別に２クラス３展開しているのが特徴です。少人数指導を実施することで、「生徒一人ひとりに注意が行き渡りやすく、より丁寧な指導が可能になる」「基礎的な学習内容の定着を図れる」「生徒の質問へ素早く対応でき、つまづきを早期に発見できる」「怪我などの事故防止、生徒の安全が確保しやすい」「ALTとのコミュニケーション、プレゼンテーション活動の発表、暗唱テストなどにおいて、一人ひとりの時間を多く確保できる」などがあります。検証については今後行っていきます。

　　来年度、１，２年生がエンパワメントスクール（総合学科）となります。１クラス３５名、１年次の基礎国語、基礎数学、コミュニケーション英語基礎の授業は２クラス３展開（１講座約２３名）で行います。２年次の国語総合・数学Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅰについても習熟度別のクラス展開を検討しています。２年次の選択科目の仮アンケートを７月中に行いました。その結果等を踏まえて、開講講座数を決定します。

　　・公開授業、新しい教育機器の活用について

　　・追認指導・学年末の補習について

　　今年度、１年生では、学期追認から進級キャンペーン（補習）という形に変えました。総合学科になり、科目の種類が増えるために形を変えたのが元々ですが、より少人数を集中して指導することで効果があがったように思います。また、エンパワメントスクールになり、１年次に学校設定の基礎科目を行っており、生徒の理解度に合わせた授業を行えているので、欠点の数が例年よりもかなり減少しました。今後は、より生徒・保護者のニーズに応えるべく、希望者の講習を充実させていくことが課題であると考えています。

（質疑応答）

委　　員：モジュール授業について、小テストなどで学力定着の確認等は行っていますか。

教務部長：数学については週に１回小テストを行っています。苦手な内容に関しては次の週も同じ内容をして、内容の定着を行っています。

教　　員：英語も週に１回小テストを行っています。

教務部長：国数英の学力診断テストを年度末に行い、どれだけ学力が定着しているか効果検証を行います。

　〇生徒指導部より

　　（生徒会）

・部活動加入生徒数について

　　・ボランティア活動実績について

　　・これまでの生徒会活動状況、今後の活動予定について

　　（生徒指導）

　　・登下校及び休憩時間の立ち番指導について

　　・生徒指導キャンペーンについて

　　・生徒指導に関する講演について

　　・進捗状況

　　４月から登下校時の喫煙行為防止や階段・スロープ付近での安全向上をねらい、階段・スロープに教員を配置

しています。そのため登下校時の喫煙の痕跡がほぼ無くなる、時間ぎりぎりで登校する生徒の遅刻が減少する、

自動車との危険なすれ違いが少なくなるなど大きな成果をあげています。ただ、校外での喫煙が増えつつある

のが残念なところです。登下校時教員の手薄な場所での喫煙行為などに対しては、立ち番を流動的にすること

で抑止に努めています。また最近では国道を利用する方々から道路の危険な横断について意見をいただくこと

が多くなっています。しかし現状では通学路の狭い場所や、信号機での見切り横断などが引き続き報告されて

います。今後教員の立ち番等見守り指導を強めていく一方、生徒が密集するタイミングでの横断の報告が多い

ため、下校時の生徒集中を緩和する工夫が必要と考えています。

（質疑応答）

委　　員：淡輪方面へ歩いて帰る子が喫煙をしているので、海洋の授業が終わって帰る先生が立ち番を行うことは

できませんか。

生徒指導部長：定期的に立ち番に行きたいと思います。

教　　頭：南海電車の乗車マナーはどうですか。

委　　員：何かあれば、今後も学校と連携し、指導してほしいと思います。１人なら何も無いですが、集団になる

　　　　　と。制服を着ていると、どこの学校かすぐにわかりますので。

委　　員：国道の横断については、減っていると思います。

　〇保健部より

　　防災訓練を６月８日（水）に行いました。雨天よりグラウンド状態悪化の為、体育館に避難する訓練を行いま

した。１階視聴覚室より出火。１階廊下北側のD階段通行不能、その後火災拡大のため全階の階段通行不可と

いう想定で避難しました。体育館の入り口が少し混み合いグラウンドの避難に比べ少し時間はかかりましたが、

比較的スムーズに避難できたと思います。（集合・点呼完了１１分１７秒）

薬物乱用防止教室について、昨今社会問題となっている薬物の危険性について毎年１年生を対象に、泉南警察

の方にきていただき、DVDを使用しての講演をしていただいています。今年は１学期中に体育館使用の調整が

つかず、２学期の１１月１７日（木）６時間目に体育館で行う予定です。

　○山海人プロジェクト委員会より

　　平成２１年度に大阪府教育委員会「スクールカラー・サポートプラン」に指定され、翌年度、活動内容を発展

させた「MISAKIプロジェクト２０１０」として２年連続指定を受けました。現在は教育活動の一環として「山

海人プロジェクト」を位置づけ、地域の方々と連携して活動を継続しています。昨年度は天候により翌週順延。

翌週も天候不順のため残念ながら初の中止となってしまいました。今年度は１０月２４日実施に向けて、地域

連絡協議会を７月７日、９月１２日と２回開催しました。これまでとの変更点は「１年生は移動手段の確保が

困難なため、全校一斉行事内で「竹林」は実施しない。２年生はシニアクエストに変えて、淡輪駅からみさき

公園駅までの地域清掃活動を行う。生徒有志活動は休耕田にひまわり、鳴門金時を植える。」です。

（質疑応答）

教　　頭：地域の皆様にご協力いただいての行事です。

委　　員：中学校でのこういった活動は広報岬に載せてもらっているので、岬高校の取り組みも載せてもらっては

　　　　　どうでしょうか。

　○進路指導部より

　　就職、進学、進路学習の３点について報告します。求人状況ですが、９月１６日までの求人数は３６８件で、

　　増加しています。就職１次受験者は８８名で、現在４１名が合格、３２名が不合格、１５名が結果待ちの状態

です。進学状況については８月末の時点で専門学校のAO入試合格者は１０名以上となっています。指定校推

薦件数は４年制大学４４件、短期大学２４件、専門学校１４３件です。進路希望調査では進学者数は昨年度と

同程度の見込みです。大学希望者については減少しています。キャリア教育及び進路実現に向けた取り組み状

況について、７月にジョブチャレンジ（職業見学）を新しく始めました。見学企業は不二製油とFedExの２社

で、参加者は１４名でした。

（質疑応答）

委　　員：例年、進路未決定者はどれくらいいますか。

進路指導部：１０名～２０名です。

委　　員：１年生からエンパワメントになったので、進路決定についても結果が出ることを楽しみにしています。

　○人権教育推進委員会より

　　取り組み内容について

　　　・人権教育推進委員会を７回実施

　　　・１年生で友人関係のトラブルが発生したため、ピアサポート委員会を開き、当該生徒に自宅待機を含めた

　　　　指導を実施、現在はクラスに復帰しているが、引き続き学年団を中心に担当教員で見守り継続中

　　　・１年生は入学式後「親の思い」をつづってもらい懇談などで利用

　　　　エンパワメントタイムでピアサポートプログラムを実施

　　　・２年生は外部講師を招いて「障がい者理解教育―車イスバスケ」実施

　　　・３年生は進路に向けて「統一用紙」の意義などをHRで学ぶ

　　　・社会科研究部員１名が１１月の研究発表に向けてヒューマンライツフォーラム生徒実行委員として参加

　　　・岬人研新転任者研修（淡輪地区フィールドワーク）に参加

　　今後の予定としては１年生を対象に昨年行えなかった留学生を招いての「国際理解ワークショップ」を１０月

　　に実施予定です。また、昨年に引き続き３年生福祉選択生徒は授業に嵯峨根望さんを講師に招き、シッティン

　　グバレーボールを体験予定です。（今年度は生活選択者も参加予定）

　　今年度の「安全で安心な学校づくり推進事業」において、本校からは研究協力員が３名参加しています。

（質疑応答）

委　　員：今年度も夏に岬人研にご参加いただき、ありがとうございました。岬高校は地域に支えられた学校だと

　　　　　思います。このような生きた研修への参加、今後ともよろしくお願いします。

人権委員長：初任者は地方出身者が多いため、ためになりました。

委　　員：暑い中参加してもらってありがとうございました。ただ、人権教育を深く受けてこなかった先生が多く

　　　　　驚きました。スタートラインから受けた人と受けなかった人との差が大きくあると思います。奥深い問

題なので、すぐに解決できる問題ではないので、大変ですが。

委　　員：統一用紙に反する質問はありましたか。

進路担当：そういった質問はほぼありませんでした。

　○教育相談委員会より

　　毎週１回の教育相談会議において、心配される生徒について対応を検討し、必要と考えられる生徒についてはスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談に引き継いでいます。特に支援が必要と考えられる生徒については、特別支援検討委員会を開催しています。教育相談会議への報告人数について、１年生の

　　第１回の延べ人数が多くなっているのは、支援カードや中学校からの聞き取りで、ピックアップしたためです。

　　スクールカウンセラーについて、今年度は２０回来ていただきます。生徒の状況を考えると、毎週でも良いく

らいですが。スクールソーシャルワーカーについて、本年度より年間９０時間配置され、外部機関に繋ぐ役割

で、福祉の専門知識・技術をもって、学校をベースに子どもの最善の利益をめざしてソーシャルワークを展開

します。「高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育」について、３年生２名が対象で自立活

動の通級授業を行っています。また、岬中学校とも教育相談合同研修会を行いました。

（質疑応答）

委　　員：スクールソーシャルワーカーの役割は。

教育相談委員長：外部機関と学校を繋ぐお手伝いや困っている生徒との面談も行っていただいています。

委　　員：組織で動いている場合、活用が難しいですね。タイムリーに連絡を取り合っていくと良いのではないで

しょうか。

　〇人材の育成と管理について　首席より

　　・教員全体の資質向上のため、実施した研修等について

　　　校内研修として、４月から８月に実施したものを説明し、１０月６日（木）教育相談研修「さまざまな環境にある生徒の支援を考える」と１０月１１日（火）、１３日（木）淡輪小学校への授業見学について口頭で説明を行いました。それに加え、改編に関する研修、初任者に関する研修を説明しました。

（質疑応答）

委　　員：先日の公開授業に参加させてもらい、授業改善に力を入れておられるのは感じました。１年生の英語

　　　　　の授業では教員と生徒が対話をしながら授業をされていました。良い授業でしたので、もっと地域の方

にも見てほしいと思います。

委　　員：小学校の授業を見て、学ぶところ、気づきがあったと思います。中学校も気合が入りました。岬高校の取り組みを見習いたいと思います。

　○国際交流委員会より

　　９月末に台湾研修の参加生徒の選考試験を行いました。６人の希望者がいて、その中から３人の生徒を選出し

ました。３人とも２年生の女子です。昨年度から希望者が定員を超えるようになってきました。これから１２

月の現地研修までの間、今年は週２回の毎週木曜・金曜で事前研修を行います。木曜日はALTのLEA先生と一

緒に英会話の研修を行います。金曜日は台湾の歴史や文化などについての研修を行います。あと２ヶ月、しっかりと準備して次回の協議会では良い報告ができればと思っています。

○第１回授業アンケート結果　校長より

　　・国語、数学、英語の教科別アンケートを用いて説明

　　モジュール授業の値が同じ教科の他の科目よりも高いのは、毎日３０分行っている結果だと考えられます。

平成２９年度使用教科書一覧表から１年生は教科書が少ないことが分かります。エンパワメントになり、子どもの科目の到達度に合わせて授業を行うので、教材を学校独自で作っているためです。教育委員会で作っているものもありますが、岬の生徒にあったものを岬の教員で作っています。授業アンケートは９つの項目があり、授業展開（先生の声や話し方は、聞き取りやすくわかりやすい）では４段階中３．０８から３．１６に、生徒意識１（私は、授業の内容に、興味・関心を持つことができた）は２．８９から３．００に、生徒意識２（私は、授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている）は２．９１から３．０３に、全ての部分で目標に到達しています。

　　・１学期に行った授業改善の取り組みについて　首席より

　　「授業参観（観察）で見つけた工夫や手法を学び、自らの授業実践に役立てる」を目的に教員相互の授業参観

　　を行いました。また、授業改善協議を２回行いました。１回目は「授業での改善点、疑問点を岬高校での経験

の長い先輩教員から工夫や手法を学び、解消する」、２回目は「平成２４年度パッケージ研修で確認した５項

目を授業で行うにあたっての先生方のテクニックを相互に出し合い、授業力の向上を図る」を目的に実施しま

した。昨年度よりも授業アンケート結果の値が向上したことについては、「経験や授業スタイルの異なる教員

が相互の授業参観・授業改善協議等により、創意工夫に溢れたアイデアや改善方策が生み出された。」「【めざ

す授業像】を意識し、授業を行う先生が増えた。」「１年生は改編したことで、生徒にとっては自分のレベルに

あっており、有意義で興味深く、充実したものになっている。」ことなどが考えられます。今後は１０月１１

日、１３日の２日間に分けて、淡輪小学校に授業見学に行く予定もあります。

３．【協議事項】（見先協議会長の司会進行）

　①エンパワメントスクールについて（校長より説明）（要旨）

　　エンパワメントがスタートして６ヶ月が経ち、取り組みの最中です。テストの平均点がアップ、遅刻・欠席の

減少、クラブ加入率は低下していますが、活発になっています。総合学科の課題としては系列で学んだ内容が

どう進路に結びついているかです。

（質疑応答）

　委　　員：エンパワメントタイムは答えが１つでない授業をしており、たいへん興味深いです。

　教　　頭：見先会長もこの授業に参加していただきますが、どういった内容ですか。

　首　　席：最終的には生徒に今までの経験を振り返らせ、パワーグラフを作ります。その前の段階として、岬高校で介助員さんとして活躍され、本校の生徒のことも十分に分かっておられる見先さん、渡辺さんを講師に招き、今までの人生を振り返り、つらかったことからどう立ち直ったのか等をお話いただく予定です。事前準備を何度も行っており、準備も万端です。

　②その他

　（質疑応答）

　委　　員：電話対応で良くない対応をお聞きしました。次年度受検を考えている生徒の保護者が電話をしたとこ

　　　　　　ろ、電話に出られた方が前置き無く、「どこの中学？名前は？」と雑な対応をされたようです。電話

１本で学校の評判が下がるのは残念です。

　教　　頭：丁寧な電話対応ができるよう改善に取り組みます。

　委　　員：ぜひ、各クラブにおいて、夏の大会で岬高校が活躍できることを楽しみにしています。

　教　　頭：協議会の皆様、ありがとうございました。貴重なご意見をいただきまして、岬高校のさらなる発展に

つなげていきたいと思います。次回の開催は来年１月を予定しております。それではこれで終了いた

します。